令和８年７月４日開催　市長と語る！新タウンミーティングの概要

１　日程等
（１）開催日　令和８年７月４日（土）午前 10 時開会（午前 11 時 50 分閉会）
（２）会　場　熊谷文化創造館さくらめいと　月のホール
（３）テーマ　市長の基本政策・令和８年度予算について

２　意見交換・質疑応答の概要
市民）
　日頃、車の運転をしていて、心配なことがございます。市内で高校生の自転車通学が大変多いんですけども、ヘルメットをされている方が非常に少ない。３年前に、法令が変わり、ヘルメットの着用が努力義務になっています。
　一方、中学校、市内の中学校で自転車通学をされると思うんですけども、学校の指導もあってほぼ 100%着用されています。
　高校生になって急に自転車の運転が上手くなるわけでもないので、市に問い合わせたところ毎年広報にチラシを配って啓発活動をしているという御回答でした。
　命にかかわることですので、県の教育委員会とか市内の高校、校長先生に対して、着用徹底のお願いをしていただければと思います。
市長）
　交通法規の上で自転車の法律も大変厳しくなってきていますので、ちょうど埼玉県の教育長が熊谷市出身の教育長でもありますので、しっかり私からも直接お話をさせていただきます。

（安心安全課）市では、ヘルメットの着用や交通ルールを含めた、自転車利用に関する注意事項等を記載したチラシを毎年作成し、市内全ての県立高校の新入学生へ入学説明会等で配布して啓発を行っています。また、９月にも改めて周知を行いました。
　県でも自転車の交通安全啓発リーフレットを作成し、県内全ての高校の新入学生へ配布して啓発を行っています。

市民）
　籠原体育館に隣接する民有地を先行取得する特別会計予算が議会で賛成多数で承認されました。
　市長は先ほど話したことは案の段階と話されましたけど、取得する予算を可決したということは賛成した市議の説明責任が必要だと思います。一人一人は１年に１回ぐらい報告会を開くべきです。

市長）
　議会での説明では、使用目的は、少なくとも文化施設ということで説明し、その御理解をいただいて 30 人中 28 人の方に賛同いただいて、可決されております。
　市議会議員と市長という立場では、市長が市議会議員にああしてこうしてという関係ではありません。執行部としては、議員さん方に報告会をすべきだということは、申し上げる立場ではないということを御理解ください。

市民）
　障害福祉の所得制限の問題がありまして、一定の所得を超えてしまうと、その使用料がすごく上がってしまう問題があるんです。特に放課後デイサービスと児童発達支援の所得制限は結構厳しく、利用金額が上がってしまいます。そもそも該当する人数が少ないので、なかなか当事者の声を上げづらい、親の所得で子どもが利用する制度が制限されてしまうということでなかなか表面化しづらい問題です。
　他の自治体では、その使用料を無料にしてくださったりとか、半額補助してくれる自治体が何件かあるんですけれども、熊谷市でも、所得制限に該当してしまっている家庭に対して、対応を検討していただけるとすごくありがたいなと思います。
市長）
　持ち帰り検討させていただきます。すぐにすぐというわけにはいきませんが、御連絡をさせていただきたいと思います。

（障害福祉課）このサービスは基本的には全国一律の制度運用を行うものであるため、対応は難しいですが、今後も県内他市や全国的な動向を常に注視し検討していきます。

市民）
　今日は、２期目として今までにない熊谷のこの先の未来の話をいろいろしていただいたと思います。今日お見えになっている方は、一般の方より自治会の関係の方が多いかなと思います。こういう話を、一般の市民の方にお話いただいたらありがたいなと思いました。
市長）
　そういったお声をいただければ、タウンミーティングを開催させていただきたいと思っています。ただ、去年に比べると一般の方にお越しいただける機会をたくさんつくっているつもりでいます。ただ、公民館なり自治会なりで御要望いただければ伺わせていただきますのでぜひよろしくお願いいたします。

市民）
　市民の方も自分たちで団体を立ち上げて、ボランティア活動とか、長年されている方がいっぱいいらっしゃると思います。これらの団体の補助金が昨年度まではあったんですが、昨年度で打ち切られて、今年度からなくなったという話を聞いております。
　金額的には１団体にしたら、わずかな金額だと思うんですが、小さな団体にとっては存続に関わるような重要な問題だと思います。ぜひこの補助金について、来年度から復活をしていただけるよう検討をお願いしたいと思います。
市長）
　この後調べさせていただいて、今後の対応を検討させていただきたいと思います。

（長寿いきがい課）令和４年に団体の自立的な運営を促すため地域福祉基金補助金に３年間の終期を定め、令和４年から数えて令和６年度までの期間を満了したためです。多くの団体に３年間という同様の条件のもと補助金を終了させていただいています。

市民）
　熊谷市でいろんな催しに出たりして、IT について非常に不安を覚えております。
　まず社員証は絶対に人前に出るときにつけるなというのが徹底されています。パソコンについては端末の管理番号を絶対に人に見せるなとセキュリティの強化を言われております。また、メールで申し込んだんですが通常ですと２段階認証があります。ですが今回は全く来ませんでした。
　他のシステムもそうなんですが熊谷市のものは２段階認証がなかったりします。DX 推進にものすごい予算をかけていらっしゃいますが、今後こういったものは改正されていくのでしょうか。
市長）
　まずパソコンのセキュリティは令和 15 年、県と一緒の建物が入って、そこで共有するものも出てくると思いますので、それに合わせてハードルを上げていきたいと思っております。
　名札については、民間はそうだと思いますが、私ども行政はそれをつけてないと不都合が生じる場合がありますので、そういったところは御理解をいただきたいと思います。

市民）
　８月には大麻生、９月には三尻に地域会館ができます。市長は地域会館に、何を期待してらっしゃるのか、今後の方向性についてお聞きしたいと思います。

市長）
　現在、それぞれの地域で公民館の方（公民館運営協議会）が中心になって自治会と協力し、いろいろな事業を開催していただいています。
　その中で公民館がなくなると今まで公民館の担っていた部分を、担うところがなくなってしまうということもあって、今までの公民館が担っていたものを継続ができる環境ということをまず大前提に考えています。

市民）
　不登校が全国35万人､熊谷市でも増えているところだと思うんですけれども、今その学校だけでなくそのフリースクールやオルタナティブスクールなど多様な学びの場が増えている中で、市としては、こうした学びの場とどのような連携をしているのか。東京都では補助が出るので、そういう考えがあれば、熊谷市としてぜひ考えていただきたいなと思います。
市長）
　不登校については民間の方たちのお力もお借りしながら進めています。それとは別に市と市民活動団体が協働して事業を実施する市民協働「熊谷の力」事業で、不登校児童に対する支援事業に対して予算を付けさせてもらっているというのもあります。
　行政とすると、新くまなびスクールやもう一つ今考えているのは、GIGA スクールの中でリモート学習といったらいいでしょうか、そういうものでまずは授業を受けていただく環境の整備ができないだろうかということも検討しています。

市民）
　三尻中学校のところの歩道橋の老朽化がだいぶ激しいので、改修の方をお願いしたいなと思っています。
市長）
　あの道は県道なので、管理は県がしております。県の方にお伝えをさせていただきたいと思います。

市民）
　教育委員会に伝えていくことだと思うんですけれども、小学校の学区の見直しをお願いしたいと思っております。近隣に小学校があるのに遠方の小学校に通わなければいけない小学校が多い気がします。
市長）
　そもそも学校の学区の見直しという考えは持っています。どういうことかと

いうと小学校がこのままでは維持できなくなってきています。学校の統廃合とあわせて、新たな学区の見直しを図っていかないと、小学校の維持ができなくなってくるだろうという状況もありますので検討させていただきたいと思っています。

熊谷市は、住民登録に基づいて学区を指定しています。教育的配慮や留守家庭などの個別の理由により、原則どおりでないこともありますので、御相談いただければと思います。

市民）

観音山の自然のことです。自然が豊かでカタクリの花やニッコウキスゲが咲くということで熊谷市も自然観察会とかやっていらっしゃいますが、あそこは個人のものですので、墓地を開発したいということで、最近は木を切ったりされているようですが、そこを守っていく対策というのを熊谷市の方で何かやっていただけないでしょうか。

市長）

所有者が個人ということになりますので、ニッコウキスゲのような貴重な花があるのは重々承知しているところではありますけれども、行政としての対策は難しいと思っています。市としてお願いする程度しかできないということを御理解いただけたらと思います。